

平成25年度 第8回 緩和ケア勉強会のご報告

平成25年度第8回緩和ケア勉強会は、3月13日に開催いたしました。出席人数は36名、うち、院内15名、院外21名でした。

今回は、「緩和ケア病棟におけるボランティア・イベント活動」ということで、実際に病棟で患者さんと関わっているボランティアの方々に話をさせていただきました。傾聴ボランティアは、患者さんやご家族の不安な気持ちを聞いたり、何気ない会話や思い出話をゆっくり話すことで、患者さんの心がほんの少しでも楽になれば・・・と活動してみえます。音楽療法では、音楽を通して、苦痛の軽減・発散や心の安らぎを得るなどの目的で行われています。園芸療法では、屋上庭園や中庭に植えられた季節の花々を鑑賞したり、野菜の植え付けから収穫まで行い、料理をして楽しむイベントなどを紹介していただきました。遺族になられてからも訪れて来られ、生前の思い出を話したり、イベントに参加することもあるようです。

緩和ケアチームスタッフからのお知らせでは、医療相談員の大蔵さんから、在宅医療機関との実際の連携事例を、言語聴覚士の市原さんからは、嚥下食についてお話いただきました。

アンケートでのご質問について、コメントを添えさせていただきます。

ご質問・ご意見とそのコメント

傾聴ボランティアの90時間の研修では、どのような内容を学ぶのですか？

傾聴ボランティアの西尾さんに答えていただきました。

《90時間のピアサポーター養成講座内容》

各がんの種別講座を受けた後、治療方法を学びます。その後、一般の方に加わってもらいグループワークをし、ファシリテーターと記録を繰り返し、レポートを提出します。16種の講座を修了した後、愛知県内の拠点病院に出張し、10件以上の実体験をし、期間はおよそ1年かかります。講座は有料、定員制限があります。

勉強会の様子



ご質問・ご意見ありがとうございました。今後もどしどしご意見をお寄せ下さい。

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院

地域医療連携センター FAX: 0572-22-7948 緩和ケア内科 Mail: kanwa@tajimi-hospital.jp